

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

新規就農者を確保し、地域の農地を守る				大分県日田市 大鶴地区	
農業を担う者数 （うち担い手）	6経営体 （4経営体）	農地面積 （うち農振農用地）	137.3ha	主な農畜産物	水稻・路地野菜・WCS
農業地域類型	山間地域	遊休農地	－ha	現状の集積率 （目標）	集計中

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
- 日田市は北部九州の中央、大分県の西部に位置し、福岡県と熊本県に隣接している。大鶴地区は、日田市西部の福岡県との県境の山間地域に位置している。 - 高齢化と担い手の減少が進行しており、荒廃防止を含めた農地の維持と、新たな担い手の確保・育成が課題となっている。 	- 地域で研修に取り組む者を新規就農者として確保する。 - 地区内農地を農地中間管理機構に貸し付け、集約化した上で担い手に利用権設定を進める。 - 地域内の農地を守る。

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯（課題への対応）及び今後の予定
意向把握のためのアンケート調査は回収率が約3割と低迷。	- 意向把握のためのアンケート調査では回収率が低調だったことから、農業委員・推進委員による戸別訪問や集落の集まりの場を活用した意向把握等を行っているところ。 - 本市のモデル地区では、各地区においてあらかじめ地域計画制度の説明や意向把握、目標地図の素案作成を包括的に行っており、最終的に完成した目標地図の素案を、その後開催する協議の場で最終確認、了承を得るやり方としている。 - 他のモデル地区とともに11月に上記協議の場を開催、所要の手続きを経て、令和7年3月までに地域計画の公告を行う予定。